

Q3 特別支援学級の教育課程は、どのようにつくればいいのですか。

1 考え方

小学校・中学校に設置される特別支援学級は、小学校・中学校の中の一つの学級ですので、教育課程（カリキュラム）は小学校や中学校の学習指導要領によってつくられることになります。しかし、特別支援学級で学ぶ子どもたちに、通常の学級の教育課程と同じものを適用することは適切ではありません。

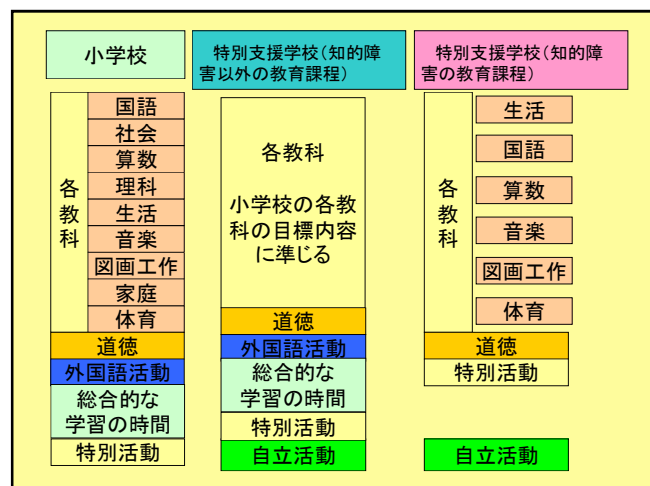
障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばし、もっている力を十分に発揮することができるようにするためには、特別な配慮のもとに、きめ細かな教育を行うことが必要です。学校教育法施行規則には、特別支援学級について「特別の教育課程によることができる。」と規定されていますので、障害の種類、程度などに応じて特別な教育課程を編成します。

特別な教育課程は、特別支援学校の小学部・中学部学習指導要領を参考にするなどして、子どもたちの実状にあったものにすることが必要です。そのため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の理解が大切になります。

2 特別支援学校小学部

特別支援学校の小学部の教育課程は、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動（知的障害者である児童を教育する場合は、各教科、道徳、特別活動及び自立活動）によって編成されます。（平成23年度 完全実施）

視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校小学部においては、各教科の目標や内容、内容の取扱い、小学校に準じます。



知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校小学部の各教科は、生活、国語、算数、音楽、図画工作、及び体育となっており、教科の目標や内容は、「特別支援学校学習指導要領」（平成21年3月告示）に別に示されています。

児童の知的障害の状態等に即した指導を進めるため、各教科等を合わせて指導を行う場合と、教科別・領域別に指導を行う場合があります。前者は従前「領域教科を合わせた指導」と呼ばれ、「日常生活の指導」、「遊びの指導」、「生活単元学習」などの指導の形態があります。（Q23「各教科等を合わせた指導」参照）

3 特別支援学校中学部

特別支援学校中学部の教育課程は各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動によって編成されます。

視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校中学部においては、各教科の目標や内容、内容の取り扱いは中学校のものに準じます。また、平成24年度から選択教科については、標準授業時数の枠外において開設できます。

知的障害者である生徒を教育する特別支援学校中学部の各教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育及び職業・家庭となっています。また、外国語科については、学校や生徒の実態

を考慮し、必要に応じて設けることができます。教科の目標や内容は、小学部と同様に「特別支援学校学習指導要領」（平成21年3月告示）に別に示されており、各教科等を合わせて指導を行う場合と、教科別・領域別に指導を行う場合があります。前者は従前「領域教科を合わせた指導」と呼ばれ、「日常生活の指導」、「生活単元学習」「作業学習」などの指導の形態があります。

（Q23「各教科等を合わせた指導」参照）

中学校	特別支援学校(知的障害以外の教育課程)	特別支援学校(知的障害の教育課程)
各教科	各教科 目標、内容は中学校に準じる	各教科
国語		国語
社会		社会
数学		数学
理科		理科
音楽		音楽
美術		美術
保健体育		保健体育
技術・家庭		職業・家庭
外国語		外国語
道徳	道徳	道徳
特別活動	特別活動	特別活動
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
	自立活動	自立活動

4 その他

総合的な学習の時間

視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校小学部の場合、総合的な学習の時間は、小学校と同じように第3学年から設けます。

知的障害者である児童を教育する特別支援学校小学部の場合、総合的な学習の時間を設けないこととしています。

ただし、小学校の知的障害特別支援学級は小学校に設置されている学級の一つということから、総合的な学習の時間を設ける必要があります。

特別支援学校中学部は総合的な学習の時間を設けます。

外国語活動

視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校小学部の場合、外国語活動は、小学校と同じように第5学年から設けます。

知的障害者である児童を教育する特別支援学校小学部の場合、外国語活動は各教科等として規定されていません。

ただし、小学校の知的障害特別支援学級は小学校に設置されている学級の一つということから、外国語活動を設ける必要があります。